

なぜヒュームの哲学探究は認知心理学でありうるのか

高萩智也 (Tomoya TAKAHAGI)

慶應義塾大学

過去の哲学者の主張のうちには、時々、現代の経験諸科学と驚くほどの一致を見せるものがある。そうした主張はしばしば経験諸科学に従事する研究者たちによって参照されたり、あるいは逆に哲学研究者の側から、この哲学者には先見の明があったなどと言われたりする。

デイヴィッド・ヒューム (1711-1776) が著作のうちで提示したいくつかのテーゼはまさにこうしたものである。本発表は、こうしたテーゼがしばしば認知心理学の研究成果と一致すると指摘されていることを紹介した上で、認知心理学を知り得なかったヒュームがなぜそうした主張を行えたのかを示すことを試みている。

ヒュームは生前から 20 世紀に至るまで、長らく懐疑主義者と言われ続けた哲学者だ。しかし 20 世紀も後半になると自然主義解釈が主流となり、その中では彼の哲学探究が過激な懐疑主義などではなく、むしろ現代の認知心理学あるいはより広く認知科学と親和的だということがしばしば主張されるようになった (e.g. Garrett 1997; 久米 2005)。より最近では、Prinz (2014) や Collier (2018) のように、ヒュームが心について提示したテーゼのうちのいくつかは、認知心理学の実験結果によって裏付けを得られていることを紹介するような文献が登場している。さらには Reed & Vits (2018) のように、ヒューム哲学を現代の心理学により接近させ、ヒュームの哲学探究が現代の心理学に対して新しい視座を与えうることを指摘するような研究も複数出つつある。

要するに、ヒューム研究者たちはヒュームの心に関する哲学的探究の成果が、現代の認知心理学・認知科学と非常に親和的だと考えているのだ。しかし、行動主義心理学への批判として登場した認知心理学という背景を当然踏まえておらず、心理学史において、実験心理学以前の内観心理学や連合心理学と言われ批判の対象となってきたヒュームの哲学探究が、認知心理学とこれほどまでに親和的だとみなされているのはなぜだろうか。発表者が考えるに、それは、彼の提示した心のモデルを現代の認知心理学者たちが受け入れているモデルと近似的なものとして解釈できるからだ。本発表はこれを明らかにするものである。

本発表の前半では、ヒュームの哲学探究を『人間本性論』第一巻と第二巻を中心に概観しつつ、これまでのヒューム研究者たちが現代の認知心理学と親和的であると考えてきたヒュームのテーゼのうちのいくつかを紹介する。それを踏まえて後半では、そうしたテーゼがヒュームの提示した心についての特定のモデルから導かれていることを明らかにする。最後に、「実験 (experiment)」に対する態度がヒュームと現代の認知科学者とで鋭く異なると論じ、ヒュームと認知科学との親和性の主張にも限界があることを指摘して論をおえる。

- Collier, Mark. 2018, "Hume's Legacy: A Cognitive Perspective," in *Humean Mind*, Angela Coventry and Alex Sager (ed), Abingdon, Oxon: Routledge, PP. 434-445.
- Garrett, Don. 1997, *Cognition and Commitment in Hume's Philosophy*, Oxford: Oxford University Press.
- 箱田裕司 (他) , 2010, 『認知心理学』, 有斐閣.
- Hume, David, [1739-40] 2007, *A Treatise of Human Nature: Being an Attempt to Introduce the Experimental Method of Reasoning into Moral Subjects*, 2 vols., D.F. Norton and M.J. Norton (ed), Oxford: Oxford University Press.
- 久米暁, 2005, 『ヒュームの懐疑論』, 岩波書店.
- Reed, Philip A., and Rico Vits, 2018, *Hume's Moral Philosophy and Contemporary Psychology*,
- Prinz, Jesse. 2014, "Hume and Cognitive Science," in *The Oxford Handbook of Hume*, Paul Russel (ed.), Oxford: Oxford University Press, pp.777-792.
- Thagard, Paul, "Cognitive Science", *The Stanford Encyclopedia of Philosophy* (Winter 2020 Edition), Edward N. Zalta (ed.), URL = <<https://plato.stanford.edu/archives/win2020/entries/cognitive-science/>>.